

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	鷲巣 益美		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>中国語の基礎を総合的に学びます。具体的には、発音記号「ピンイン」および中国独自の漢字「簡体字」の読み書き、基礎文法を踏まえたうえでの簡単な文章の和訳および中国語訳を中心に進めます。中国人留学生に何とか話しかけられる程度の発音と度胸を身に付けることを当面の目標とします。前期の授業を完全に理解できたと思ったら、中国語検定準四級に挑戦してください。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
<p>教科書 時限によって異なるので、買い間違えのないよう気をつけてください。</p> <p>月曜2限：『初級漢語教本』内田慶市・西山美智江著、同学社（CDつき）</p> <p>月曜3限：『[三訂版]Q&A付 なるほど・わかる中国語』佐藤晴彦著、同学社（CDつき）</p> <p>辞書 授業中に紹介します。電子辞書可。ゴールデンウィーク頃までに購入してください。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

基本的には、教科書音読 発音チェック 和訳 再度音読 暗誦 聞き取り練習 教科書の練習問題、の順に進めます。余裕があれば、実際にどんな場面で使えるかといった応用練習もします。最低一度は指名されると考えてください。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

1. 全授業回数の三分の二以上出席し、授業態度に問題がなければ試験を受けることができる。
2. 出席をとった際に返事がなければ全て欠席とみなす。遅刻3回で欠席1回に換算する。
3. 出席をとった際に返事があっても氏名されて返答なくば減点の対象となる。
4. 小テストと定期試験は同等に扱う。
5. 試験で6割以上得点すれば、最低限単位を与える。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日の10:30頃～16:10頃まで、大学構内にいます。相談事がありましたら、昼休みに遠慮なく非常勤講師室まで来てください。

【学生へのメッセージ】

漢字だから何とかなるだろうと思って安易に選択すると、大抵失敗します。何故かという、発音を表記するためにローマ字を使った独特の方法をとっており、これを覚えないことにはどうにもならないからです。たとえば「参」の発音はcanと書いて「ツァン」、「七」の発音はqiと書いて「チ」と読みます。しかし、漢字や漢文が大好きという人は大丈夫かもしれません。いずれにせよ実用性を考えて真面目に取り組むならば、中国語を履修して損はないと思います。

【その他】

パソコンを使って中国や中国語を勉強する方法を授業中に教えます。ちょっと高度かもしれませんが。